

2006年6月20日

韓国でPDP用ガラス基板の製造窯を新設

旭硝子株式会社

旭硝子株式会社（本社：東京、社長：門松正宏）は、韓国（大韓民国）の亀尾市において、PDP（プラズマ・ディスプレイ・パネル）用ガラス基板の製造窯を新設することを決定しました。既に本年3月に新社を設立しており、今後約110億円を投資してガラス基板の製造窯を設置します。製造窯については、本年6月頃に着工、2007年8月頃に量産開始の予定です。

当社は、現在、関西工場及び愛知工場の製造窯においてPDP用ガラス基板を生産し、関西工場、京浜工場、並びに韓旭テクノグラス社（本社：韓国亀尾市、出資比率70%）において切断・端面処理、ITO成膜などの加工を行っています。また、関西電力大阪事業所跡地（大阪市住之江区）において、大型ガラス基板の加工工場を新設し、2007年5月頃に量産を開始することとしています。

一方、PDP用パネルの台数は、2006年の980万台から2009年の1700万台まで、年平均20%程度の成長が予想され、これに伴い、今後もPDP用ガラス基板の需要が大幅に増加することが見込まれることから、今回は、韓国に新社を設立しガラス基板製造窯を新設することとしました。これにより、韓国内でのPDP用ガラス基板の素板製造から加工までの一貫生産体制が確立され、引き続きお客様への安定供給が可能となります。

なお、新社の概要は以下の通りです。

1. 社名 旭PDグラス韓国株式会社
2. 代表者 富野文夫
3. 所在地 韓国亀尾市
4. 資本金 330億ウォン
5. 出資比率 旭硝子100%
6. 設立 2006年3月
7. 事業内容 PDP用ガラス基板の素板製造

当社は、1996年に関西工場において世界で初めてPDP用ガラス基板（PD200）の生産を開始しており、現在においても世界シェア約80%を持っています。今後も積極的な設備投資を実施し、お客様への安定供給を図るとともに、より高い品質・技術・サービスを提供していきます。

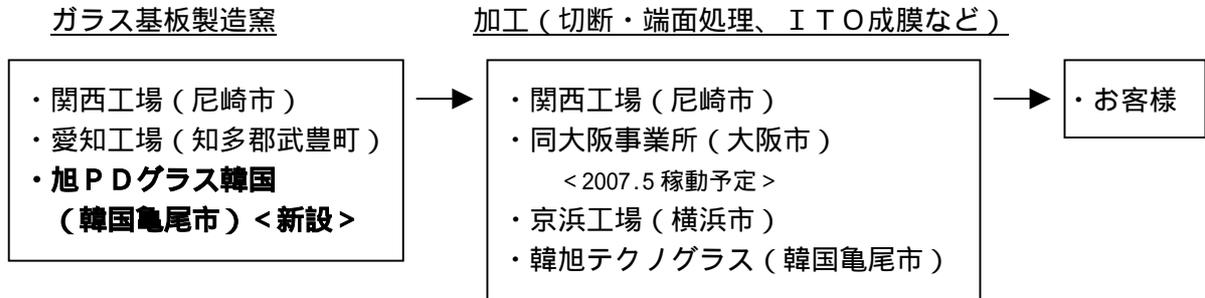
以上

本件に関するお問い合わせ先：旭硝子(株)広報・IR室長 川上 真一

（担当：斎藤 TEL:03-3218-5509、Email:info-pr@agc.co.jp）

<ご参考>

・当社PDP用ガラス基板製造フロー



愛知工場の製造窯ではPDP用ガラス基板と自動車用ガラス素板を併産